

六郷に新たな伝統を

校長 志賀 茂伸

創立70年目。116名の入学生を迎え、全校生徒355名～1年生4学級115名、2年生3学級110名、3年生4学級125名と特別支援学級3学級（エコー・ピア・フレンド）5名の計14学級～教職員43名で、平成28年度がスタートしました。

本校では、これからの学習や生徒会活動、部活動で生徒一人一人が充実した日々を過ごせるよう、教職員一同、誠心誠意取り組んでいきたいと考えています。

豊かな知恵を有し、社会の一員として自分の責任を確実に果たして生活することができる「生きる力」を備えた望ましい人格を完成させることが、中学校の務めであると考えています。

「学力の向上」「豊かな心と体の育成」「チャレンジする力の育成」を柱に、生徒の社会的自立を目指し、地域・社会に信頼される学校を目指していきます。

始業式では、2、3年生に次のこととお話ししました。

「言葉」	ひとつの言葉でけんかして	ひとつの言葉で仲直り
	ひとつの言葉で涙を流し	ひとつの言葉で笑い合い
	ひとつの言葉で頭が下がり	ひとつの言葉でいがみ合い
	ひとつの言葉はそれぞれに	ひとつの心をもっている
	きれいな言葉はきれいな心	優しい言葉は優しい心

言葉はとても大切です。「美しい言葉」「優しい言葉」が行き交う中で仲間との絆が深まっていくのです。みなさん一人一人が自分の良さを思いっきり表現し、さらにすばらしい六郷中学校になるように頑張ってください。

人間の細胞は日々生まれ変わっていて、昨日と同じ人間は誰もいないという言葉は何らかの本で読んだことがあります。新しい年度、新しい学年は、新しい自分と出会うチャンスです。なりたい自分をしっかりと思い描き、目標を持って全力でチャレンジしていきましょう。みなさん一人一人の頑張りを期待しています。

そして先生方みんなで全力で応援していきます。

最後に、「当たり前のことを当たり前のようにできる」ということを目指して今年度頑張ってください。

また、入学式では新入生に二つの願いとして、次のこととお話ししました。

一つ目の願いは、「学習に毎日励む生徒になってもらいたい」ということです。物事を正しく判断して行動していく力、他の人と協力して生きていく力や、自分の周りの集団をより良いものにしていく力も培っていかねばなりません。それらの基礎となるものが学力です。毎日の生活と学習のルールを守り、毎日の授業に真剣に取り組むことは勿論のことですが、失敗を恐れず部活動や生徒会活動など新しい活動にどんどん挑戦し、より高い目標を目指して、毎日努力してほしいと願っています。

二つ目の願いは、「いじめや暴力を許さない生徒になってもらいたい」ということです。人はみんな違う人間です。あなたたちは、地球上にたった一人しかいないかけがえのない存在なのです。そして、自分を大切にするように、世界中にたった一人しかいない隣の人も同じように大切にしてほしいのです。私たちには、それぞれ長所と短所があります。だからこそ、お互いにかばい合い、協力することが大切です。みんなのいろいろな力を集めると、きっとすばらしい力を生み出すことができると思います。

学校の教育課題を踏まえつつ、生徒の良さや可能性を伸ばし、個々の夢や進路希望を実現できるよう教育活動の充実に努めてまいりたいと考えております。

何とぞ、六郷中の生徒たちの未来のために、家庭や地域、学校との協働による「共育」活動の推進について、一層のご理解とご協力をお願いいたします。